

平成15年十勝沖地震による液状化現象の速報写真

鈴木正章（道都大）

平成15年十勝沖地震によって札幌市清田区美しが丘において発生した液状化現象について、9月26日に短時間ながら観察する機会があったので、代表的な写真を速報としてお知らせします。

現場は写真のように住宅地で、住宅が傾き、道路が波状にくぼんで泥水が出た模様で、空き地には噴砂孔と噴砂が明瞭に認められました。この地域には支笏火砕流堆積物(Spfl)が到達しており、同堆積物やその2次堆積物などが液状化した可能性があります。この点は確認調査が必要です。





コメント(遠藤邦彦(日本大)): 今回の地震がM8であったことから、非常に広い範囲で液状化現象が発生した可能性があります。従来の例によれば液状化限界距離は震央から300km辺りにあってもおかしくありません。遠方への限界距離が分かると今後の参考になるとと思いますので、各地での観察例が報告されることを期待しています。